

様式第2 (第18条関係)

2020年度 下期放射線管理等報告書

五島育英発2021第 29号
2021年 4月 15日

原子力規制委員会 殿

住 所 東京都渋谷区道玄坂一丁目10番7号
名称及び代表者の氏名 学校法人 五島育英会
理事長 高橋 遠

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第67条第1項及び試験研究の用に供する原子炉等の設置、運転等に関する規則第18条第1項の規定により次のとおり報告します。

工場又は 事業所	名 称	東京都市大学原子力研究所
	所 在 地	神奈川県川崎市麻生区王禅寺971番地

1 放射性廃棄物の廃棄の状況

(1) 気体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の放出量及び濃度(注1)

①放射性物質の種類別の年間放出量

(単位:Bq)

測定の箇所等	種類	全希ガス		¹³¹ I	¹³³ I	全粒子状物質 ²⁾	³ H
		⁴¹ Ar					
排気口 又は 排気監視設備	排気塔	該当なし ¹⁾		—	—	<6.7×10 ⁻⁴ Bq/sec	—

— : 測定はしていない

¹⁾平成19年6月6日付の廃止措置計画の認可に基づき、屋外管理用設備である排気モニタ(ガスモニタ)は機能を停止している。

²⁾当該の数値は原子炉施設の定期事業者検査等のため、送排風機を作動させたときのものである。ダストモニタによる排気の放射能濃度の測定値は検出限界(放射能濃度:~1.1×10⁻¹⁰(Bq/cm³))以下であり、告示に定める周辺監視区域外の空気中の放射能濃度(4×10⁻⁸Bq/cm³)を十分に下回っていた。なお、報告値は、上記、検出限界放射能濃度と排気流量率(排気塔の排気流量率:6.1×10⁶cm³/sec)の積として計算により算出したものである。

②放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値

(単位:Bq/cm³)

測定の箇所	濃度	前半の3月間(10月~12月)		後半の3月間(1月~3月)	
		平均値 (Bq/cm ³)	最高値(注2) (Bq/cm ³)	平均値 (Bq/cm ³)	最高値(注2) (Bq/cm ³)
排気口 又は 排気監視設備	排気塔	放出実績 なし	放出実績 なし	放出実績 なし	放出実績 なし

(2) 液体状の放射性廃棄物に含まれる放射性物質の放出量及び濃度(注1)

①放射性物質の種類別年間放出量³⁾

(単位:Bq)

種類		全核種		核種別			
		(³ Hを除く)		⁵¹ Cr	⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co
排水口 又は 排水監視設備	—	該 当 な し					
合 計							
年間放出管理目標値							

(単位:Bq)

種類		核種別					
		⁶⁰ Co	¹³¹ I	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁸⁹ Sr	⁹⁰ Sr
排水口 又は 排水監視設備	—	該 当 な し					
合 計							
年間放出管理目標値							

(単位:Bq)

種類		核種別		³ H
		アルファ線を放出する 放射性物質	ベータ線を放出する 放射性物質	
排水口 又は 排水監視設備	—	該 当 な し		
合 計				
年間放出管理目標値				

³⁾液体廃棄物の廃棄設備は、平成22年2月25日付の廃止措置計画の変更認可に基づき機能を停止し、平成23年9月16日付の廃止措置計画の変更認可に基づき解体撤去しており、本項目は該当しない。

②放射性物質の濃度の3月間についての平均値及び最高値⁴⁾

(単位:Bq/cm³)

濃度		前半の3月間(10月~12月)		後半の3月間(1月~3月)	
		平均値 (Bq/cm ³)	最高値(注2) (Bq/cm ³)	平均値 (Bq/cm ³)	最高値(注2) (Bq/cm ³)
測定の箇所					
排水口 又は 排水監視設備	—	該 当 な し ¹⁾			

⁴⁾:平成22年2月25日付の廃止措置計画の変更認可に基づき、液体廃棄物の廃棄設備は機能停止し、その後、平成23年9月16日付の廃止措置計画の変更認可に基づき、同設備は解体撤去し、平成24年3月に完了した。

(3) 液体状の放射性廃棄物の保管量等(注3)

(単位:m³)

施設の名称	武蔵工大原子炉施設	施設合計
放射性液体廃棄物の種類	該 当 な し	
量		
前年度末保管量		
当該年度発生量		
当該年度の減少量		
施設内減量		
施設外減量		
当該年度末保管量		
保管設備容量		

(4) 固体状の放射性廃棄物の保管量等(注4)

(単位:本⁶⁾)

施設の名称 放射性廃棄物の種類 量	武蔵工大原子炉施設					施設合計
	濃縮 廃液 固化物	フィルター スラッジ	イオン 交換 樹脂	雑固体	その他	
前年度末保管量	0	7 ⁸⁾	3(1)	109(106)	0	119(107)
当該年度の発生量	0	0	0	0	0	0
当該年度の減少量	0	0	0	0	0	0
施設内減量	0	0	0	0	0	0
施設外減量	0	0	0	0	0	0
当該年度末保管量	0	7 ⁸⁾	3(1)	109(106)	0	119(107)
保管設備容量	【原子炉室】 ・ 固体廃棄物保管場所 (補機室) : 80 ・ B ホール : (5) ・ 原子炉室内 : (300)					

⁶⁾保管量は 200 リットルドラム缶換算本数で示している。

⁷⁾平成 23 年 9 月 16 日付の廃止措置計画の変更認可に基づき、固体廃棄物貯蔵庫は解体撤去し、固体廃棄物は固体廃棄物貯蔵庫から原子炉室内に移動した。廃止措置に係る解体撤去物等も同室内にて保管している。その保管場所の各々の保管容量を示している。

⁸⁾平成 27 年度の施設定期自主検査において、気体廃棄物の廃棄設備であるフィルターを新規の物に交換を行った。

2 使用済燃料の貯蔵量等

(単位:体)

施設の名称	東京都市大学原子力研究所	合計
使用済燃料の種類	該 当 な し ⁹⁾	
前年度末貯蔵量		
当該年度の発生量		
当該年度の搬出量		
搬出先の名称		
当該年度末貯蔵量		
貯蔵施設容量		

⁹⁾平成 18 年 8 月米国エネルギー省・アイダホ国立研究所に搬出しており、本項目は該当しない。

3 放射線業務従事者の線量分布(注5)

(1) 放射線業務従事者の1年間の線量分布

線量 放射線 業務従事者	線量分布(人)				
	0.1mSv 以下	0.1mSvを超え 1mSv以下	1mSvを超え 2mSv以下	2mSvを超え 5mSv以下	5mSvを超え 10mSv以下
職員	8	0	0	0	0
その他	—	—	—	—	—
合計	8	0	0	0	0

線量 放射線 業務従事者	線量分布(人)				
	10mSvを超え 15mSv以下	15mSvを超え 20mSv以下	20mSvを超え 25mSv以下	25mSvを超え 30mSv以下	30mSvを超え 35mSv以下
職員	0	0	0	0	0
その他	—	—	—	—	—
合計	0	0	0	0	0

線量 放射線 業務従事者	線量分布(人)				
	35mSvを超え 40mSv以下	40mSvを超え 45mSv以下	45mSvを超え 50mSv以下	50mSvを超え るもの	合計
職員	0	0	0	0	8
その他	—	—	—	—	—
合計	0	0	0	0	8

線量 放射線 業務従事者	総線量 (人・mSv)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
職員	0.0	0.0	ND
その他	—	—	—
合計	0.0	0.0	

(2) 女子(妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を試験研究用等原子炉設置者に書面で申し出た者を除く。)の放射線業務従事者の3月間の線量分布

線量		線量分布(人)			
		0.1mSv以下	0.1mSvを超え 1mSv以下	1mSvを超え 2mSv以下	2mSvを超え 5mSv以下
放射線 業務従事者	職員	1	0	0	0
	その他	—	—	—	—
	合計	1	0	0	0
前半の3月間 (10月～12月)	職員	1	0	0	0
	その他	—	—	—	—
	合計	1	0	0	0
後半の3月間 (1月～3月)	職員	1	0	0	0
	その他	—	—	—	—
	合計	1	0	0	0

線量		線量分布(人)		総線量 (人・mSV)	平均線量 (mSv)	最大線量 (mSv)
		5mSv を超えるもの	合計			
放射線 業務従事者	職員	0	1	0.0	0.0	ND
	その他	—	—	—	—	—
	合計	0	1	0.0	0.0	—
前半の3月間 (10月～12月)	職員	0	1	0.0	0.0	ND
	その他	—	—	—	—	—
	合計	0	1	0.0	0.0	—
後半の3月間 (1月～3月)	職員	0	1	0.0	0.0	ND
	その他	—	—	—	—	—
	合計	0	1	0.0	0.0	—

4 試験研究用等原子炉の運転時間及び熱出力(注6)

[試験研究用等原子炉の名称：武蔵工大炉]

月別	項目	運転時間 (h)	熱出力	
			平均(kW)	最大(kW)
10月		—	—	—
11月		—	—	—
12月		—	—	—
1月		—	—	—
2月		—	—	—
3月		—	—	—
	合計	—	—	—

廃止措置中(平成16年1月27日 解体届け提出、平成19年6月6日 廃止措置計画認可)、
平成22年2月25日 廃止措置計画の変更認可、平成23年9月16日 廃止措置計画の変更認可